

夕刊 七月二十一日発行 本紙は毎朝発行され、内容は...

「平町新風景」論 白木英尾

最近、新報の全紙面を通じてこれほど多数の論を有するものはない...

鹿 島田忠夫 (童謡詩) 角の落ちた鹿が...

あたま刈り 市川健次 あたまたるなら...

元禄名妓傳 小邑井小八 宮野恒彦 五兵衛は面喰らって...



拾華微笑 見學園を迎へ 高き加減 下少年庭球出...

四倉通信 営業者天候を呪ふ 海水浴場では脱衣場買店...

Public notices and advertisements including '入札公告' (Notice of Auction), '色川木村株式會社' (Shikawa Kimura Co.), and '大漁亭' (Daichu-tei).

Medical advertisements for '高久病院' (Takakura Hospital), '藤沼醫院' (Fujiyama Hospital), and '秋山時計店' (Akiyama Watch Store).

輝く優勝旗を繞つて 各校選手の意氣は昂る

前回は早目に九月中旬開催

本校第十回郡下少年庭球大會
主催 第十回郡下少年庭球大會
主審 第十回郡下少年庭球大會

地方少年庭球界最大の年中、四等赤井
行事として例年嵐の様な人々の戦績が
主審少年庭球の第十回大會常務を兼ねた
は九月中花々しく開催さるるが如き意氣
見事優勝の王座を占めんとする意氣が
熱心な練習を続けてゐる外然として進
近が始まる暑中休暇は一層気込みまじ
その精進に拍車を加へるも大接戦を豫
の観測される、昨秋の第百三十三回
九回大會では前二年引續き新進チーム
優勝の澤渡校が三たび優勝せば大會は
の壯闊空しく精銳好開校のて一大会況
為に居られ
一等好開、二等澤渡、三迫で発表

無人の境を行く 古河 炭礦鈴木木田組

原町の東大庭球大會で 強豪青葉莊を屠る

原町の東大庭球大會で、強豪青葉莊を屠る。古河炭礦鈴木木田組の活躍が注目されている。

警中野球選手 今晩福島へ遠征

磐城中等学校野球選手 手十三名は濱口、大村

警中野球選手、今晩福島へ遠征。磐城中等学校野球選手、手十三名は濱口、大村。

中央専門家が會して 超過保険の研究

警協側の委員長として 井上茂作氏が説明

中央専門家が會して、超過保険の研究。警協側の委員長として、井上茂作氏が説明。

大日本消防協會代議員井上茂作氏は此程東京九の内警協會に於て開かれた超過火災保險に關する座談會に出席し大に日頃の進歩を見せたが出席者は
(商工省)損害保險課長石井銀彌、保險事務官菅波

産業組合を基調に 地方農村是を確立

渡邊村の發會式を機に 對應策の協議を提出

産業組合を基調に、地方農村を確立。渡邊村の發會式を機に、對應策の協議を提出。

河沼二十五名の一行 石城郡各方面を見學

河沼郡農會の中堅農夫約二十五名 草野村農會高木誠一

河沼二十五名の一行、石城郡各方面を見學。河沼郡農會の中堅農夫約二十五名、草野村農會高木誠一。

紳士の態度 路の遊びは怪我の基

河沼郡農會の中堅農夫約二十五名 草野村農會高木誠一

紳士の態度、路の遊びは怪我の基。河沼郡農會の中堅農夫約二十五名、草野村農會高木誠一。

ウナ公は語る 上組の直前從容と

鮫川護岸出身を誇る 誰れそれは了簡、蓋し一人の優越感

ウナ公は語る、上組の直前從容と。鮫川護岸出身を誇る、誰れそれは了簡、蓋し一人の優越感。

景風新町平

景風新町平、新町の風景を描写する文章。

今秋を憂ふ(上)

今秋を憂ふ(上)、秋の訪れを憂う文章。

婦人聯盟

婦人聯盟、女性たちの活動に関する記事。

常備員が出勤

常備員が出勤、消防組員の活動に関する記事。

河童連を監視

河童連を監視、河童に関する伝説的な記事。

舞踊と音楽の夕

舞踊と音楽の夕、文化活動に関する記事。

梨の袋掛け

梨の袋掛け、農業に関する記事。

漸次終熄の域に入る

漸次終熄の域に入る、災害に関する記事。

牛を豚や馬に

牛を豚や馬に、畜産に関する記事。

馬の貧血病發生

馬の貧血病發生、畜産に関する記事。

川前二坂夏好

川前二坂夏好、地域の出来事に関する記事。

正銘の銀貨

正銘の銀貨、金融に関する記事。

吉田眼科病院

吉田眼科病院、医療に関する記事。

大蒲燒壹七拾錢

大蒲燒壹七拾錢、飲食に関する記事。

松本樓

松本樓、商業に関する記事。

診察時間線

診察時間線、医療に関する記事。

波警院

波警院、医療に関する記事。

レコード破りの

レコード破りの、娯楽に関する記事。

阿部石炭商店

阿部石炭商店、商業に関する記事。